

下地市長公約推進計画の進捗状況

下地敏彦市長は、平成 21 年 1 月 25 日付、第 2 代目の宮古島市長として就任しました。就任後は、政権公約として掲げた 8 大基本政策の具現化に向け、市民並びに関係者の皆様のご支援、ご協力の下、丁寧にスピーディに取り組んできました。

また、平成 25 年 1 月より、第 2 期目がスタートしています。

今回は、市長第 1 期目の仕上げの年となった平成 24 年度の取り組み内容と進捗状況を公表します。

なお、進捗状況は、公約目標年度における達成状況を示しております。

(平成 25 年 3 月末現在)

1. 市行政組織の改革

●個別施策

1) 分庁方式の見直しを含めた組織機構の効率的運用と改革の早期実施

職員が減少する中で住民サービスを維持できる組織機構の構築を図り、効率的な行政運営に努めます。

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 1 年度 ～ H 2 4 年度	100%	福祉保健部を「福祉部」と「生活環境部」に分割し、福祉事務所の業務と市民生活に直結した部署の集約を行い、また、建築課を設置し、住民サービスの向上と効果的な執行体制の構築に努めました。	行財政改革班

2) 指揮命令系統の徹底と責任所在の明確化

- ①管理監督者研修の実施 (H21 年度～)
- ②事務改善行動計画の徹底 (H21 年度～)
- ③人材育成計画基本方針の策定 (H21 年度～)
- ④人材育成計画実施計画の策定 (H21 年度～)

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 1 年度 ～ H 2 4 年度	100%	管理監督者を以下の研修に派遣しました。 ・ 監督者研修派遣 (4 名) ・ 管理者研修 (2 名)	総務課

3) 信賞必罰の徹底

- ①法令・条例等に基づく事務の遂行に向け職員の研修強化を図ります。(H21年度～)
- ②懲戒・分限に係る指針の見直し (H21年度)
- ③人事評価システムの導入 (H24年度)

また、信賞必罰を徹底することにより、公務員としての自覚を促すとともに、やる気のある職員を応援する仕組みづくりを行います。

公約目標年度	進捗状況	H24年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	90%	<p>各種研修へ職員を派遣し、職員の資質向上に努めました。また、講師を招聘して研修会を開催し職員の資質向上に努めました。</p> <p>派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新採用職員研修 (26名) ・税務研修 (3名) ・給与実務研修 (1名) ・政策プランナー養成研修 (2名) ・財務会計研修 (4名) ・クレーム研修 (5名) ・法制執務研修 (3名) ・メンタルヘルス研修 (2名) ・その他研修 (13名) <p>講師招聘</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みどりの分権改革 (120名) ・一括交付金に関する講演 (138名) ・人生を楽しく (100名) ・女性キャリアデザイン研修 (10名) <p>人事評価システムについては、未導入</p>	総務課
H21年度 ～ H24年度	100%	宮古島市服務規程に沿った「服務規程Q&A」の職員への周知徹底を行いました。	総務課

4) 各種プロジェクトの創出・導入に向けた体制の強化

公約に掲げた宮古島活性化のための各種プロジェクトを強力に推進するための体制づくりを進めます。

公約目標年度	進捗状況	H24年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	100%	今後、一括交付金の活用及び国の経済活性化対策により建築関係事業の増加が見込まれるため、中・長期的な視点に立ったビッグプロジェクトを推進し、効果的な執行体制を構築するため、建築課を設置しました。	行財政改革班

2. 市財政の立て直し

●個別施策

1) 市職員数を類似市並みにするための計画的縮減の実施

集中改革プランは平成 21 年度で終了することから、第 2 次プランの策定の中で、適正規模の市政運営に向け、定員の適正化と組織・業務のスリム化に取り組みます。

また、勧奨退職を促進し職員数の計画的削減を行います。

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 1 年度 ～ H 2 4 年度	100%	第二次集中改革プラン(H22～H26 年度)の定員適正化計画に基づき職員数の削減を進め、平成 24 年度は 839 名となっています。 (H22 年度⇒910 名)・(H23 年度⇒880 名)	行財政改革班
H 2 2 年度 ～ H 2 4 年度	100%	平成 24 年度の勧奨退職者 3 名。	総務課

2) 現在実施している全ての事業の総点検と見直しの推進

第 1 次宮古島市総合計画の前期基本計画における施策の達成状況を確認・検証することで市の現状や課題等を把握し、その対応策を後期基本計画に盛り込んでいきます。

また、行財政改革班においては、全ての事業について総点検を実施します。

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 1 年度 ～ H 2 4 年度	100%	平成 23 年度に、前期基本計画の検証をもとにした後期基本計画を策定しました。	企画調整課
H 2 1 年度 ～ H 2 4 年度	100%	第二次集中改革プラン(H22～H26)を策定し、事務事業の再編等を進めながら、市単独補助金・行政事務全般の検証を行いました。	行財政改革班

3. 農林水産業の振興

<農業>

●個別施策

1) ①土地改良事業の推進（市実施事業）

<農地整備事業>

（平成 24 年度）

- ・ほ場整備
- ・畑地かんがい整備事業

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 1 年度 ～ H 2 4 年度	100% (全体 計画の 71%)	(平成 24 年度事業) ・ほ場整備(6 地区) 36.57 ha 466,344 千円 ・畑地かんがい整備事業 41.20 ha 241,583 千円	農地整備課

1) ②農村生活環境整備、農地等保全管理事業の推進（市実施事業）

<農業農村整備事業（管理計画）>

（平成 24 年度）

- ・村づくり交付金
- ・団体営農用地保全整備事業
- ・団体営ため池等整備事業

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 1 年度 ～ H 2 4 年度	100%	農業農村整備事業（管理計画） 村づくり交付金（4 地区） ・・・・・・・・176,717 千円 団体営農地保全整備事業（4 地区） ・・・・・・・・230,004 千円 団体営ため池等整備事業（1 地区） ・・・・・・34,604 千円	むらづくり 課

2) WTOに対応したサトウキビ生産方式の検討と関税引き下げ対策への取り組みの強化

本市農業の最重要課題として、持続的発展と将来の展望が図れるよう、県と連携し国に対して強く働きかけていきます。

公約目標年度	進捗状況	H24年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	100%	政府はTPP交渉へ参加を宣言しています。TPPに参加した場合、農産物等に壊滅的な打撃を与えることが懸念されるため、JAや県と連携しTPPの全国集会（H24.11.14）にあわせて宮古地区説明会を開催しました。また、JA中央会主催のさとうきび農業代表者集会（H24.11.20）へも宮古島市から参加しました。	農政課

3) 新規商品への支援強化

本市農業の新たな戦略品目として積極的に支援強化を図ります。

公約目標年度	進捗状況	H24年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H23年度	100%	平成23年度に、大豆の栽培技術確立のための実証実験を行い、また、パインアップル栽培研究会を立ち上げ現地検討会を実施しました。 また、平成24年度に、宮古産かんしょ（芋）6次産業化プロジェクト事業で、芋の加工工場を整備しました。また、「宮古島市いも生産販売組合」を設立し、商品の開発と消費拡大に取り組んでいます。	農政課

4) 肉用牛等畜産への支援強化

肉用牛（子牛）生産出荷体制と、生産基盤の確立を図ります。

公約目標年度	進捗状況	H24年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	100%	子牛拠点産地として平成21年7月に県から認定を受け、平成23年4月には肉用牛（肥育牛）拠点産地として認定を受けています。 子牛拠点産地化事業として、和牛子牛適正出荷奨励補助金として子牛の適正出荷に対し、15,399千円の助成金を交付しました。子牛のセリ出荷実績として平成24年度は、5,458頭（前年度：5,526頭）を出荷し、2,182,835千円（前年度：2,084,782千円）の販売実績がありました。 今後も、地域の特性を生かした産地形成に取り組めます。	畜産課

<林業>

●個別施策

1) 緑の創出の推進

<平成 24 年度事業>

- ・森林環境保全直接支援事業
- ・特定森林造成事業

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 0 年度 ～ H 2 4 年度	100%	<ul style="list-style-type: none"> ・森林環境保全直接支援事業（流域の事業名変更により） 77,433 千円 ・特定森林造成事業 12,600 千円 ・里山エリア再生交付金事業は H22 年度より廃止 計：88,037 千円 	みどり推進課

2) 防風林及び公園・緑地用樹木の育成

<平成 24 年度事業>

- ・花いっぱい・緑をつくる条例推進事業

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 0 年度 ～ H 2 4 年度	100%	<ul style="list-style-type: none"> ・花いっぱい・緑をつくる条例推進事業 844,870 円 ・植物園に水辺の空間を創出するとともに周辺に 100 種類以上の花木を植栽し、リニューアルを図 っています。 ・道路植栽里親制度の活用促進を図るため、苗木 の無料配布を行いました。 	みどり推進課 観光課

<水産業>

●個別施策

1) 製氷施設等水産物流通施設の整備と流通システムの構築

伊良部地区佐良浜と平良地区池間において、製氷施設を新たに設置することにより、計画的な漁業活動を支援し、漁業者の生産意欲の高揚と漁業振興に寄与します。

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 0 年度 ～ H 2 2 年度	100%	平成 22 年度に池間・佐良浜両漁港に製氷施設を設置しました。また、平成 23 年度には台風で被害を受けた池間漁港の無線施設を修繕しました。	水産課

2) パヤオの増設

パヤオを設置し、漁場造成に努めるとともに、漁船漁業を推進します。
(離島漁業再生支援交付金事業)

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 0 年度 ～ H 2 3 年度	100%	平成 20 年度 1 基 平成 21 年度 1 基 平成 22 年度 1 基 設置しました。	水産課

3) 貝類・藻類養殖事業の推進

貝類、藻類等、養殖の生産拡大と新たな養殖産業の創出と産地化を図ります。
(離島漁業再生支援交付金事業)

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 0 年度 ～ H 2 2 年度	100%	タイワンガザミ、シラヒゲウニ、シャコ貝（ヒメジャコ）、ハマフエフキ（タマン）の放流を行いました。また、モズクの拠点産地認定を目指し、モズク産地協議会を設立し品質の安定とブランド化に向けた取り組みを行っています。	水産課

4) 水産業の振興：種苗供給施設の整備

種苗生産体制の拡大を図り、つくり育てる漁業を推進します。
(沖縄県水産業構造改善事業)

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 1 年度	100%	平成 21 年度に久松漁港にモズク種苗供給施設を設置しました。 平成 23 年度に「地域特性を活かした持続可能で儲かる漁業の推進」を基本理念とする第 1 次水産振興計画を策定しました。 平成 24 年度に海業センターの機能強化に向け、海業センター整備基本計画検討調査業務を実施しました。	水産課

4. 観光及びスポーツの振興

●個別施策

1) 市民と観光客が一緒になって楽しめる新たなイベントの企画

平成 21 年度文化資源活用型観光戦略モデル構築事業（県観光振興課）を活用します。

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 1 年度 ～ H 2 2 年度	100%	平成 22 年度に観光協会を事務局とした官民連携により、エコアイランド宮古島マラソンをスタートさせました。また、マンゴー祭り、牛祭りを開催し、宮古島産マンゴー、宮古牛のおいしさを島内外にアピールしました。	観光課

2) 海・浜を利用したレジャー及びイベントの充実

本市の観光産業にとって、海・浜を利用したレジャーやイベントの開催は、特に重要な位置を占めることから、「宮古島市観光振興基本計画」等に基づきイベントの充実を図ります。

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 1 年度 ～ H 2 4 年度	100%	H24 実績：海族まつり（2,075 千円）、ビーチバレー（1,240 千円）、風ジェットスキー（200 千円）の海浜関連イベントに対し補助を行いました。（補助金 3,515 千円）	観光課

3) 児童・生徒・市民の健康促進のための市体育協会の育成強化

宮古体育協会に補助金の増額を行い、組織の育成に努めるとともに、市民の健康増進を図るため、体育協会との連携を強化します。

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 1 年度 ～ H 2 4 年度	100%	昨年度に引き続き宮古島市体育協会へ補助金（同額）を交付しました。また、県民体育大会が当市で開催されたため 50 万円増額しました。（H24 年度 14,500 千円）	市民 スポーツ課

4) 環境未来税の新設による観光、健康施設の整備充実

自然環境（エコ）の保全等を核とした本市の新たな魅力を創出し、観光振興や雇用創出につなげるため、新たな財源確保に向け、その方策を検討します。

公約目標年度	進捗状況	H24年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	30%	<p>平成22年度には、関係各課と連携して「法定外目的税」新設の可能性を図るため関係資料の収集や調査等に努めましたが、①政府は消費税の税率を平成26年4月から段階的に引き上げることと決定していること。②平成24年度から沖縄振興特別交付金（一括交付金）が交付され、観光や環境保全事業等に対し、交付金が活用できることなどから導入に向けた取り組みは控えていました。</p> <p>しかし、今後観光資源の保全や施設の管理運営、また、エコアイランドを持続的に推進するための財源確保が不可欠であることから、法定外目的税の新設に向け取り組む必要があります。</p>	企画調整課

5. 医療・福祉の充実

●個別施策

1) 県立宮古病院の新築促進と市休日夜間救急診療所の併設

宮古圏域の安定した医療の確保に向け、県と協力し県立宮古病院の早期建設に積極的に取り組みます。

また、県立宮古病院内に市休日夜間救急診療所を併設することにより、市民の利便性向上及び県立病院が本来担う2次救急への負担軽減、業務の集中化など、円滑な医療体制の確保に努めます。

公約目標年度	進捗状況	H24年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	100%	市の休日夜間救急診療所を併設した施設として、平成25年6月に開院しました。	企画調整課
		<p>県立宮古病院内に宮古島市休日夜間救急診療所を併設建設し、平成25年6月1日に診療所が開設しました。これにより市民の利便性や、宮古島市の1次救急の充実が図れます。</p> <p>工事・監理負担金：15,424,450円</p>	健康増進課

2) 託児所及び保育所等幼児対象施設の整備・支援強化

- ① 宮古島市公立保育所建設事業：255,648 千円
- ② 砂川保育所改修事業：3,000 千円

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 1 年度	100%	・砂川保育所の改修を行いました。(平成 21 年度) ・老朽化の著しかった東川根保育所を統合し、新東保育所を建設しました。さらに看護師を配置し、病後児保育にも対応できる体制を整えました。(平成 22 年度)	児童家庭課

3) 長寿医療制度（後期高齢者医療制度）の充実強化の促進・支援強化

集団健診・個別健診等について啓発に努めます。

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 1 年度 ～ H 2 4 年度	100%	健診業務については、平成 22 年度より運営主体が市町村から後期高齢者医療広域連合に移行されたため、自己負担助成については後期高齢者医療広域連合が行っています。 宮古島市では対象者にチラシ配布や広報みやこじまへ掲載するなど健診に対する周知を行いました。	国民健康保険課

6. 教育の充実

●個別施策

1) 小・中学校の統合も含めた地域教育の在り方の検討

子どもたちの学ぶ環境の向上を図るため、小中学校の統合も含めた地域教育のあり方を検討します。

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 2 年度 ～ H 2 4 年度	100%	宮古島市学校規模適正化検討委員会の答申（平成 23 年 3 月）を受け、宮古島市教育委員会の宮古島市立学校適正規模についての基本方針を定め、規模適正化対象地区で説明会を開催しました。	学校規模適正化対策班 教育総務課

2) 豊かな心を育む学校教育費の大幅増額の実施

児童生徒の「生きる力」を育成するため、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育むため、学校図書の充実、学力向上対策、教育相談体制、特別支援教育の充実に努めます。

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 1 年度 ～ H 2 4 年度	100%	<ul style="list-style-type: none"> ・宮古島市立小・中学校の読書活動の充実を図るため、図書購入に 8,428,698 円を充てました。 ・特別支援教育支援員を H23 年度の 19 名から 24 名に増員し、特別支援教育の充実を図りました。 (幼稚園 3 校・小学校 11 校・中学校 4 校 28,924,102 円) ・宮古島市立学校選手派遣事業を実施し、派遣費の一部を助成することにより、児童生徒が自ら学ぶ意欲の高揚と保護者負担の軽減を図りました。 小学校 (県内 625 名、県外 32 名) 計 4,934,980 円 中学校 (県内 1,213 名、県外 16 名) 計 11,409,200 円 	学校教育課

7. 宮古島活性化のためのプロジェクトの推進

●個別施策

1) 天然ガスを活用したコンビナートの建設

宮古島における水溶性天然ガスについては、昭和 35 年～昭和 45 年にかけての「沖縄天然ガス資源調査」により賦存することが判明しており、旧城辺町の調査報告書の中で掘削費用等も試算されています。

掘削費用等については、相当な予算確保が必要なことから、国・県及び N E D O 等関係機関と調整を図りながら、補助事業、関連事業の助成メニューを開拓します。

また、島内外の有識者による「資源利活用検討委員会」を設置し、併せて、民間事業者とも調整を図りながら、天然ガスコージェネレーションシステムを活用した施設の誘致または建設を実現します。

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 1 年度 ～ H 2 4 年度	40%	<p>県の事業である「天然ガス資源活用促進に向けた試掘調査事業」においては、平成 24 年度に「天然ガス資源試掘候補地選定委員会」が 2 回開催され、城辺保良地区が試掘場所の一つとして選定されました。</p>	エコアイランド推進課

2) 温泉水を利用した保養及びリハビリ施設の誘致

温泉水については、天然ガスに付随するものであり、上記天然ガスの取り組み手法と同様に、温泉水を活用したクアハウス等の施設を誘致し、併せて、天然ガスコージェネレーションシステムを活用します。

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 1 年度 ～ H 2 4 年度	100%	温泉水を活用した施設については、大型リゾートホテルや病院等がすでに活用を始めています。 また、県において「天然ガス資源有効利活用検討委員会」は、平成 25 年度に実施する試掘調査事業を踏まえて、試掘後の天然ガス資源の有効活用促進に向けた計画策定を進めることとしています。	エコアイランド推進課

3) 伊良部大橋建設の促進

道路特定財源制度の見直しにより、H 2 1 年度から一般財源化されたことに伴い、伊良部大橋建設工事にかかる安定的な事業予算確保に向け、国・県並びに関係機関に対し官民一体となって陳情、要請行動を展開していきます。

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 1 年度 ～ H 2 4 年度	100%	早期完成に向けて、引き続き県及び関係機関と協議を進めてまいります。	企画調整課 道路建設課

4) 中小企業への支援促進

宮古島市小口資金融資制度により、事業を営む小規模企業者の資金需用に対処します。

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 1 年度 ～ H 2 3 年度	100%	宮古島市小口資金融資制度により、事業を営む小規模事業者に対し、事業活動に必要な資金を融資しました。(平成 24 年度: 2 件、4,800 千円)	商工物産交流課

5) 特色あるホテル建設の促進

現在、計画のあがっているリゾートホテル建設について、早期着工を求めるとともに、本市のニーズに合ったホテル建設について協議していきます。

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 3 年度 ～ H 2 4 年度	80%	新しいホテル建設については、市内各地において民間事業者により都市型・リゾート型ホテルの建設または計画が進められています。 また、天然ガスの試掘調査が平成 25 年度に実施されることから、天然ガスに付随する温泉水を活用した宿泊施設の整備が期待できます。	企画調整課

6) 土地改良事業の促進（国・県との事業）

- ・国営宮古伊良部地区土地改良（かんがい排水）事業

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 1 年度 ～ H 2 4 年度	100% (全体 計画の 17%)	国営宮古伊良部土地改良(かんがい排水) 事業は、総事業費 523 億円のうち、平成 24 年度は 35 億 4 千 7 百万円の事業を執行し、平成 24 年度までの執行額は 86 億 6 千 3 百万円です。平成 24 年度の主な工事は、仲原地下ダム工事 141m、伊良部導水路工事 4. 4km を実施しました。	農地整備課

7) 島全体を対象とした電線地中化の促進

沖縄ブロック電線類地中化協議会において、「第 6 次 5 ヶ年計画」で事業採択に向け取り組みます。

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 1 年度 ～ H 2 4 年度	100%	<ul style="list-style-type: none"> ・県道高野西里線（平良港入り口から北給油所）の電線共同溝整備事業は、平成 23 年度に工事完了しました。 ・国道 390 号線については、平成 26 年度完成予定で現在工事が進められています。 	都市計画課

8) 下地島空港及び残地活用計画の策定

空港及び残地利活用について（本市提案方策）

①国際的な航空関連教育の拠点づくり

- ・空港、リゾート、ホテルなど、航空産業に係わる国内外教育拠点設置
- ・国産小型ジェット機など新たな需要への対応

②災害時における国際緊急支援活動の拠点づくり

- ・ J I C A 「国際緊急援助隊」の拠点空港としての機能整備

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 1 年度 ～ H 2 4 年度	90%	<ul style="list-style-type: none"> ・残地については、下地島空港等利活用計画や下地島農業基本計画を推進し、新たな農業による高所得や空港と連携した農業の振興に資するために農業的利用ゾーンを県より買い受けました。 (182, 500 千円) ・空港の利活用については、県が主催する下地島空港利活用検討協議会が、現状や課題を検証し、実現可能性が高く持続的な利活用策を引き続き検討することとしています。 	企画調整課

9) 地域における伝統文化・行事等の継承・保全のための支援

地域の伝統文化を継承・保全している各自治会に補助金を交付します。

公約目標年度	進捗状況	H24年度における主な取り組み内容	担当課
H20年度 ～ H24年度	100%	指定の無形民俗文化財保存団体への管理委託を実施。 (50,000円×14件)	生涯学習振興課

10) 拝所等の整備促進

- ① 国指定史跡「大和井」石垣修復工事を行います。
- ② 県指定史跡「上比屋山」拝所道の整備を行います。
- ③ 指定されている御嶽等の整備を促進します

公約目標年度	進捗状況	H24年度における主な取り組み内容	担当課
H20年度 ～ H24年度	100%	市内に所在する指定文化財（無形民俗を除く）管理団体への管理委託を実施。 (44件：合計990,000円)	生涯学習振興課

8. 施政方針及びマスコミ等で発表した公約政策

●個別施策

1) エコアイランド宮古島の推進

「エコアイランド宮古島」構想を推進します。

平成 20 年 3 月 31 日にエコアイランド宣言をした本市では、これまでの実績を踏まえて E3、風力、太陽光、バガス発電、バイオディーゼルの製造、エコツアーの提供、地下水の保全等について積極的に取り組めます。

※5年以内に具体化する主な取り組み：

- サトウキビ増産アクションプランの実施
- 新エネルギーの大規模導入
- 東南アジア型エコハウスの普及促進
- エコツアーの実施

公約目標年度	進捗状況	H24年度における主な取り組み内容	担当課
H20年度 ～ H24年度	100%	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーの地産地消及び、省エネ意識の促進等を目的とした「島嶼型スマートコミュニティ実証事業」を行いました。 (事業費：860,393千円) ・エコアイランド宮古島の推進に際し、島一丸となった取り組みを進めるため、「エコアイランド宮古島の推進に関する条例（仮称）」制定に係る調査を行いました。(事業費：4,095千円) ・宮古島市の住宅・事業所でのエネルギー消費動向について、消費状況の実測及びアンケート調査を行いました。(H23～H24 事業費：2,536千円) ・蒸暑地域に適した省エネ型住宅（エコハウス）の見学と宿泊体験を通し、市民、島内外の建築関係者等にエコハウスの建築工程及び、性能紹介を行いました。また、毎月開催している「暮らし講座」により、エコライフ、エコアイランド宮古島の取り組み紹介などの情報発信を行いました。 (事業費：735千円 利用者：1,564名) 	エコアイランド推進課及び全部署

2) 国民健康保険税率の見直し

H21年度国民健康保険税条例の一部を改正し、現行税率を引き下げます。

公約目標年度	進捗状況	H24年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H22年度	100%	平成 22 年度に国民健康保険税条例の一部を改正し、国保税率を引き下げました。	国民健康保険課

3) 県営公園早期整備への要請活動

県に対し、宮古地区の県営公園整備事業の実施を強く働きかけていきます。

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 1 年度 ～ H 2 4 年度	100%	県は平成 25 年度に県営公園基本計画等調査事業を実施するため 8,000 千円を予算計上し、基本構想の策定に着手することとしています。	都市計画課

4) 市陸上競技場の改修

地域のスポーツ振興を図るため、陸上競技場の改修工事を行い、地域住民及び各種スポーツイベントにおいて安心して利用できる施設とします。

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 1 年度 ～ H 2 2 年度	100%	平成 21 年度にトラックタータンの張り替えを行い、平成 22 年度には地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用してメインスタンド・外周スタンドの改修工事を行いました。	市民スポーツ課

5) 高齢者が生き生きと暮らせるための支援強化

老人クラブ活動の支援を強化し、生き生きとした高齢者社会の実現に努めます。

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 1 年度 ～ H 2 4 年度	100%	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老祝い金支給額 : 30,488,000 円 (70 歳～99 歳 : 3 千円 = 29,988,000 円) (100 歳以上 : 1 万円 = 500,000 円) (新 88 歳と新 100 歳 : 各祝い金の他、5 千円相当の記念品 = 1,250,000 円) ・老人の孤独死の防止を図るための見守り事業 = 1,800,000 円) ・連合会活動運営資金の助成 = 3,168,000 円 計 : 36,706,000 円 	介護長寿課

6) 安全・安心な教育環境の充実

＜放課後子ども教室事業＞

子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれるための環境づくりを推進するため、すべての小学校区において放課後や週末に地域住民の協力のもと、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、勉強やスポーツ・文化活動、様々な体験活動などを実施します。

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 1 年度 ～ H 2 4 年度	100%	○子ども教室実施数 10 教室 ・教室開催数 延べ 350 回 ・運営委員 15 人 ・運営委員会開催 2 回(5 月・3 月) ・参加児童数 延べ 8,960 人 ・安全管理員・学習アドバイザー 延べ 1,394 人 ・ボランティア 延べ 266 人 総事業費 3,091,000 円	生涯学習振興課 児童家庭課

7) 心豊かな生涯学習社会の実現

生涯学習フェスティバルを開催し、広く市民に対し学習活動の成果発表の場や学習情報を提供するとともに、「学び育てる文化のまち みゃ〜く」をテーマに生涯学習の振興を図ります。

また、各公民館において市民の実際生活に関する教育・学術及び文化に関する事業を行い、市民の教養向上、健康増進、情操純化、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため、地域に根ざした各種講座の内容充実に努めます。

さらに、児童生徒による劇団を立ち上げ、演劇を通して人格の形成を図ることで、他者との関わりや自己を客観視する力、社会性を理解する力などを身につけることのできる場を創出します。

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 1 年度 ～ H 2 4 年度	100%	生涯学習フェスティバルを毎年 1 1 月に開催し、生涯学習に対する意識の向上を図るとともに、団体や個人に対し社会教育功労表彰を行っています。 ・H24 年度開催日:平成 24 年 11 月 17 日(土)～平成 24 年 11 月 18 日(日) ・テーマ:『学び育てる 文化のまち みゃ〜く』 ・会場:宮古島市中央公民館 ・内容:教育功労表彰(1 個人)・講演会・活動展・舞台発表・体験実演コーナー・野外ステージ・リサイクルバザー・キッズコーナー・おはなし玉手箱・軽スポーツ・セグウェイ試乗コーナー・宮古馬体験乗馬コーナー・加工食品販売・宮古島市体験工芸村・花づくり公開講座 ・公民館関係団体 264 人 ・社会教育団体 165 人 ・総事業費 479,732 円	生涯学習振興課

H 2 1 年度 ~ H 2 4 年度	100%	<table border="0"> <tr> <td>中央</td> <td>19 事業</td> <td>延べ</td> <td>1,773 人</td> <td>1,067 千円</td> </tr> <tr> <td>城辺</td> <td>14 事業</td> <td>延べ</td> <td>1,552 人</td> <td>686 千円</td> </tr> <tr> <td>上野</td> <td>10 事業</td> <td>延べ</td> <td>1,016 人</td> <td>438 千円</td> </tr> <tr> <td>下地</td> <td>11 事業</td> <td>延べ</td> <td>1,140 人</td> <td>498 千円</td> </tr> <tr> <td>伊良部</td> <td>8 事業</td> <td>延べ</td> <td>525 人</td> <td>300 千円</td> </tr> <tr> <td>久松</td> <td>8 事業</td> <td>延べ</td> <td>674 人</td> <td>300 千円</td> </tr> <tr> <td>西原</td> <td>10 事業</td> <td>延べ</td> <td>891 人</td> <td>300 千円</td> </tr> <tr> <td>下崎</td> <td>9 事業</td> <td>延べ</td> <td>795 人</td> <td>300 千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>89 事業</td> <td>延べ</td> <td>8,366 人</td> <td>3,649 千円</td> </tr> </table>	中央	19 事業	延べ	1,773 人	1,067 千円	城辺	14 事業	延べ	1,552 人	686 千円	上野	10 事業	延べ	1,016 人	438 千円	下地	11 事業	延べ	1,140 人	498 千円	伊良部	8 事業	延べ	525 人	300 千円	久松	8 事業	延べ	674 人	300 千円	西原	10 事業	延べ	891 人	300 千円	下崎	9 事業	延べ	795 人	300 千円	計	89 事業	延べ	8,366 人	3,649 千円	中央公民館
中央	19 事業	延べ	1,773 人	1,067 千円																																												
城辺	14 事業	延べ	1,552 人	686 千円																																												
上野	10 事業	延べ	1,016 人	438 千円																																												
下地	11 事業	延べ	1,140 人	498 千円																																												
伊良部	8 事業	延べ	525 人	300 千円																																												
久松	8 事業	延べ	674 人	300 千円																																												
西原	10 事業	延べ	891 人	300 千円																																												
下崎	9 事業	延べ	795 人	300 千円																																												
計	89 事業	延べ	8,366 人	3,649 千円																																												
H 2 3 年度 ~ H 2 4 年度	100%	平成 24 年 4 月に子ども劇団を設立し、 8 月に「ゆうたっちよの中学生絵日記」 3 月に「ゆうたっちよの中学生絵日記」再演 及び「チェンジ・ザ・ワールド」公演を行いました。 総事業費：6,076,849 円（一括交付金）	文化ホール																																													
H 2 4 年度	100%	一括交付金を活用して博物館を改修・拡充し、 展示物の充実を図るとともに、企画展の充実及 び積極的な開催に努めました。	総合博物館																																													

8) 新エネルギー資源の活用推進

本市には、太陽光発電・風力発電をはじめとする新エネルギー施設や、島の基幹作物さとうきび製糖時の副産物である廃糖蜜を原料とするバイオエタノール生産施設、泡盛蒸留粕を利用したメタンガス生成施設など、様々な再生可能エネルギー施設が島中に点在しています。

このような既存施設を紹介・説明するPR館及び小規模の新エネルギー施設を数種類揃え、訪れた方々に宮古島のエネルギー地産地消や環境保全に対する取り組みへの理解を深めていただくとともに、次世代のエネルギーを見て、触れて、体感できるシステムを構築します。

公約目標年度	進捗状況	H24年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	100%	<ul style="list-style-type: none"> ・自然エネルギーの促進のため、市内の住宅用太陽光発電設置に対し補助金を交付しました。 (対象：100件、事業費：9,975千円) ・再生可能エネルギーを活用した植物工場を構築し、新たな産業モデルの構築を目指すとともに、情報発信や人材育成、事業化支援を行うプラットフォームの構築に向けた調査を行いました。 (事業費：8,295千円) ・当市のバイオエタノール製造施設を活用し、バイオエタノールの高効率生産技術の確立を目指し検証を行いました。 (平成24年度分事業費：16,657千円) ・電気自動車の普及促進を図るため、充電設備を設置する者へ整備費の一部を補助しました。 (対象：2件、事業費：152千円) ・島内の観光関連施設に電気自動車の充電設備を整備することにより、電気自動車の普及促進と観光振興を図りました。 (設置3件、事業費：3,635千円) 	エコアイランド推進課

9) ごみ処理施設の早期建設

- ①ごみ処理施設を整備します。(H20年度～H26年度)
※ストーカ方式 63t/日
- ②リサイクル施設を整備します。(H20年度～H26年度)
※不燃ごみ・資源ごみ処理施設 12t/日
- ③リサイクルプラザ施設を整備します。(H27年度～H28年度)

公約目標年度	進捗状況	H24年度における主な取り組み内容	担当課
H20年度 ～ H24年度	100%	<ul style="list-style-type: none"> ・環境影響評価書を作成し、県へ提出しました。 ・ごみ焼却施設建設工事の発注を行いました。 	環境施設整備室

10) 葬斎場の早期新設

宮古本島内には、民営の火葬場が1箇所存在するが、施設の老朽化が著しく、永続的経営が困難になることが予想されることから、今後は、行政が主体となって運営する葬斎場の早期新設に取り組みます。

公約目標年度	進捗状況	H24年度における主な取り組み内容	担当課
H20年度 ～ H22年度	100%	平成22年度に建設完了し、平成23年度より供用開始されています。	環境施設整備室

11) 新図書館移転新築の調査・検討

・H21年度答申済基本計画及び選定用地について再検討を行います。

<今後の取り組み予定>

- ・H25年度 基本プラン作成・基本設計
- ・H26年度 実施設計
- ・H27～28年度 建設工事
- ・H28年度 開館予定

公約目標年度	進捗状況	H24年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H28年度	100% (全体計画の35%)	新中央公民館建設基本計画及びデジタルアーカイブ基本方針を策定しました。また建設用地として、宮古病院跡地の利活用について所有者である国と調整を進めています。	中央図書館建設準備室

12) 水道事業の整備促進

・宮古島市水道事業変更認可（第一次拡張事業）

本事業は、伊良部大橋に送水管を添架し、宮古島から伊良部島へ水道水を送水することで、伊良部島の安定供給が図られ、安価な水を供給することが可能となります。

また、伊良部送水に伴い、宮古島本島の水道施設の処理能力増強、取水施設、送水施設の建設などが必要となりますが、配水区域の再編を行うことで、袖山浄水場の負荷を軽減させ、増設する施設を必要最小限にとどめる事業です。

公約目標年度	進捗状況	H24年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	100% (全体計画の49%)	宮古島本島より伊良部島へ送水工事、需要水量に対応するための配水管工事を行いました。 (この事業の進捗は伊良部大橋建設工事の進捗状況と連動しています)	水道総務課

13) 道路・港湾・下水道施設の整備促進

住民、来島者が安心・安全に利用出来る道路整備の計画及び実施に向けて取り組みます。

※特定交通安全施設整備事業

※地方道路整備臨時交付金事業

※道路改築事業

公約目標年度	進捗状況	H24年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	85%	平成24年度における補助事業で実施した路線は6路線で、そのうち1路線は整備を完了し、伊良部148号線（乗瀬橋）については撤去を完了しました。 また平成22年度に私道整備補助事業を創設し、補助金を交付しています。 (H24年度：5件、3,599千円)	道路建設課

H20年度「平良港港湾計画（改訂）」において漲水地区再編事業計画が決定しています。

公約目標年度	進捗状況	H24年度における主な取り組み内容	担当課
H23年度 ～ H24年度	100%	平成24年度新規事業として、平良港漲水地区複合一貫輸送ターミナル改良事業が採択されました。(総事業費47億円、整備期間H24～H28) 事業規模：耐震強化岸壁 L220m 港湾施設用地 22,000 m ²	港湾課

公共下水道は、道路、公園等とともに、主要な都市施設の一つであり、汚水、生活雑排水の適切な処理により、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与するとともに、公共用水域の水質保全を図るため、設置、整備していきます。

公約目標年度	進捗状況	H24年度における主な取り組み内容	担当課
H21年度 ～ H24年度	100% (全体計画の75%)	公共下水道事業として、平成24年度は以下の業務を実施しました。 ・マクラム通り枝線工事 19,530,000円 ・竹原3号線枝線工事 12,927,600円 ・下地線枝線工事 17,094,000円 ・竹原1号線枝線工事 16,642,500円 ・汚水管実施設計業務 32,949,000円 また、下水道施設を活用したし尿処理施設を整備し、処理能力の向上と環境への負担の軽減を図りました。	下水道課

1 4) 消防機能の充実

救急・救助体制の充実を図るため、職員の技術力の向上や資機材・消火栓等の整備を実施します。

公約目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 1 年度 ～ H 2 4 年度	100%	以下の研修へ職員を派遣し、技術力の向上を図りました。 初任教育、特殊災害科、予防査察科、危険物科、救急科、救助科、中級幹部科、防火管理指導員研修、気管挿管・薬剤投与研修、救急救命士養成課程、薬剤投与追加講習、無線従事者研修 (派遣職員数 18 名)	消防本部 総務課
H 2 1 年度	100%	平成 21 年度に水難救助資機材（ボート）を伊良部支所に配備し、また平成 22 年度に最新形式の救助工作車を購入し配備し、資機材の充実を図りました。 平成 24 年度には消防団城辺詰所に非常勤職員を配置し、救急体制の充実を図りました。	消防本部 総務課
H 2 1 年度	100%	平成 21 年度に、平良・下地・上野地区に 4 カ所、伊良部地区に 8 カ所の消火栓を設置し、火災時の迅速な水利確保の向上を図りました。	消防本部 総務課

1 5) 市総合庁舎建設

総合庁舎方式への移行については、今後、市行政組織改革の中で検討されることになっており、その結果を踏まえた上で市総合庁舎建設に向け取り組みます。

目標年度	進捗状況	H 2 4 年度における主な取り組み内容	担当課
H 2 2 年度 ～ H 2 4 年度	30%	市民の利便性の向上及び業務の効率化を図るため、総合庁舎整備が必要であると考えます。平成 22 年度に新庁舎建設庁内検討委員会を設置し、検討を行いました。東日本大震災を教訓に防災機能等を兼ね備えた庁舎として整備する必要があります。 今後は、現在策定中の新宮古島市地域防災計画等を参考に、新庁舎建設計画の策定に向け取り組みます。	企画調整課

宮古島市は、公約推進計画の実現に向け鋭意取り組んできましたが、目標は概ね達成できたと思っています。

計画の中には複数年かけて引き続き実施する事業も多数ありますが、2 期目でも継続して取り組むことで、さらなる飛躍につなげたいと考えています。

今後とも市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

宮古島市長 下地 敏彦